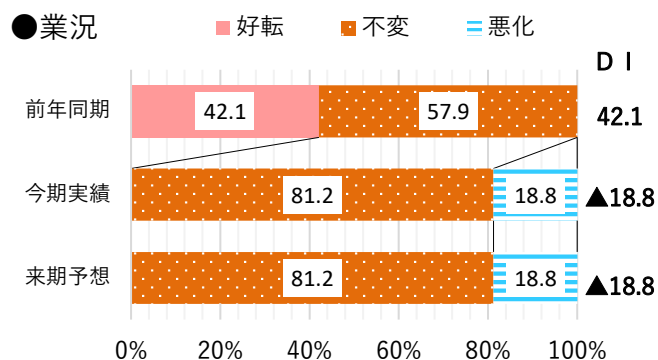


卸 売 業

業況、売上、採算

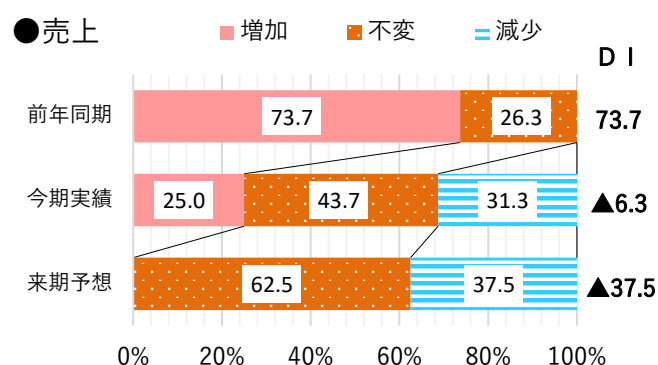
今期(2024.4~6)の業況判断DIは▲18.8で、前年同期(2023.4~6)と比べ60.9ポイントと大幅に低下し、マイナスに転じました。

来期(2024.7~9)は、業況の横ばいを予想しています。



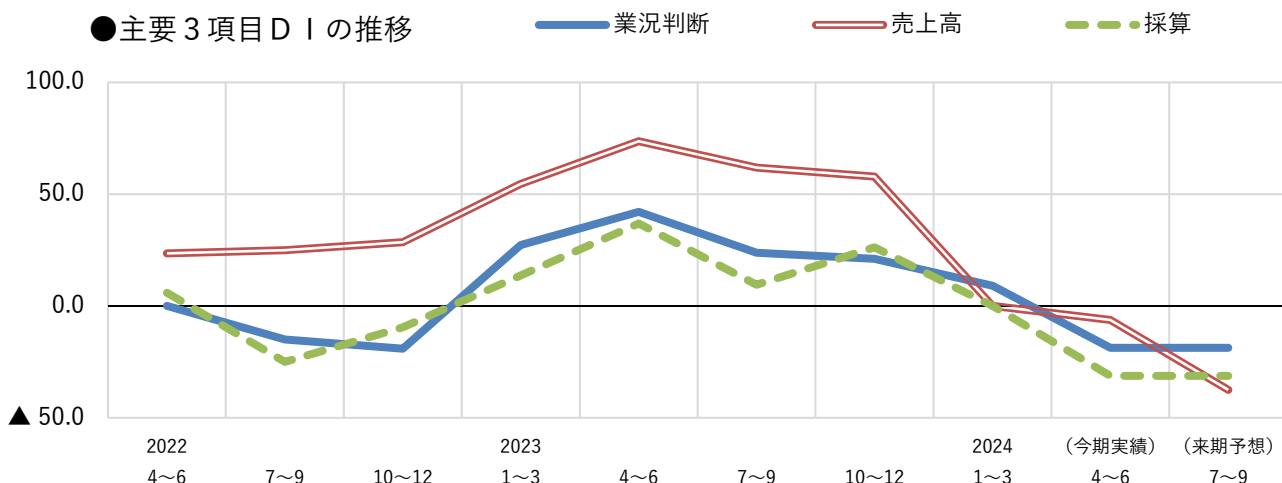
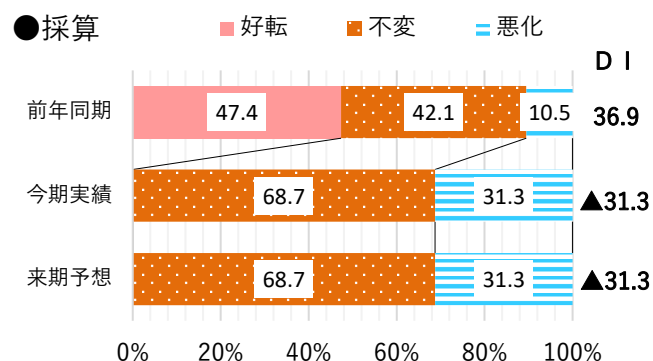
今期の売上DIは▲6.3で、前年同期と比べ80.0ポイントと大幅に低下し、マイナスに転じました。

来期は、売上の減少傾向が大幅に強まると予想しています。



今期の採算DIは▲31.3で、前年同期と比べ68.2ポイントと大幅に低下し、マイナスに転じました。

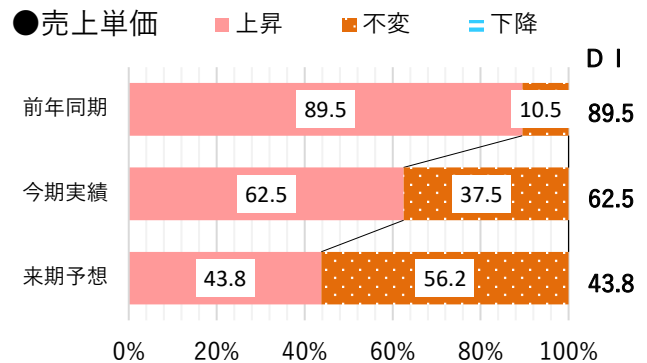
来期は、採算の横ばいを予想しています。



売上単価、商品仕入単価

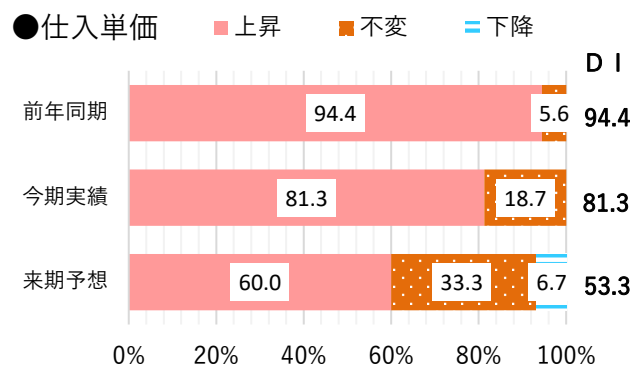
今期の売上単価DIは62.5で、前年同期と比べ27.0ポイント低下しました。

来期は、売上単価の上昇傾向が弱まると予想しています。



今期の仕入単価DIは81.3で、前年同期と比べ13.1ポイント低下しました。

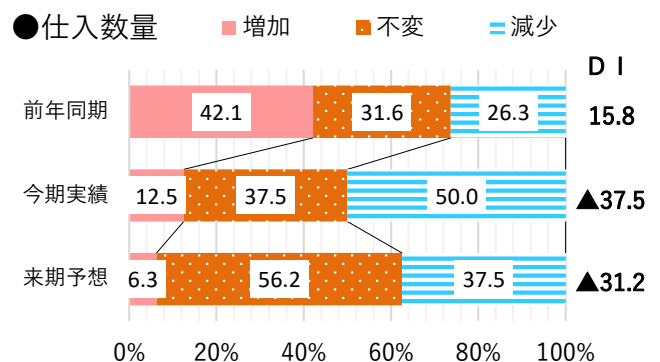
来期は、仕入単価の上昇傾向が弱まると予想しています。



商品仕入数量、商品在庫数量

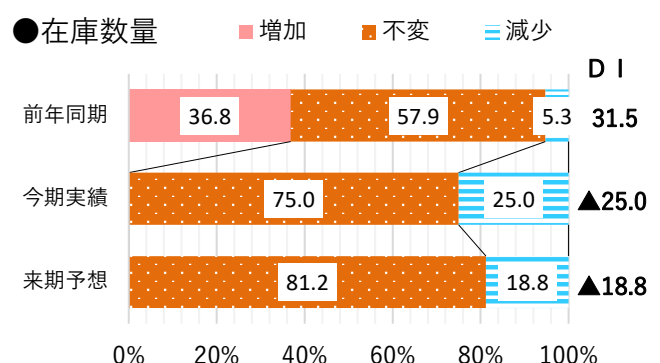
今期の仕入数量DIは▲37.5で、前年同期と比べ53.3ポイントと大幅に低下し、マイナスに転じました。

来期は、仕入数量の減少傾向が続くと予想しています。



今期の在庫数量DIは▲25.0で、前年同期と比べ56.5ポイントと大幅に低下し、マイナスに転じました。

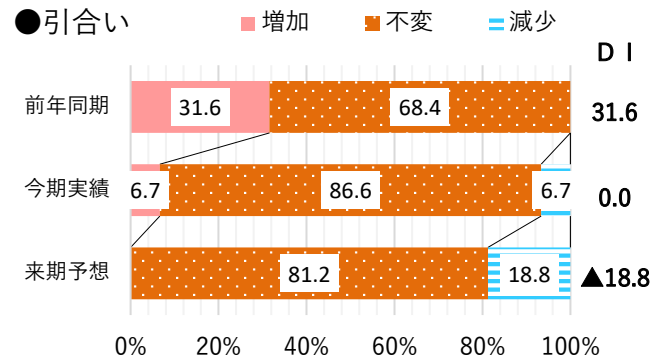
来期は、在庫数量の減少傾向が続くと予想しています。



引合い

今期の引合いDIは0.0で、前年同期と比べ31.6ポイントと大幅に低下しました。

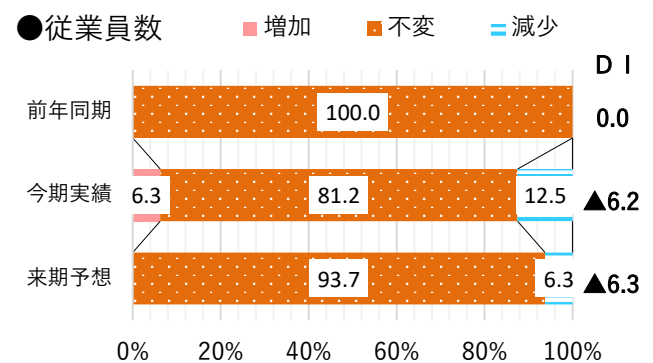
来期は、引合いが減少に転じると予想しています。



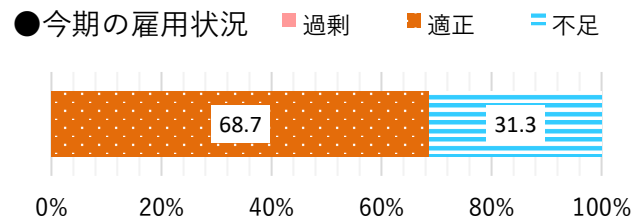
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲6.2で、前年同期と比べ6.2ポイント低下し、マイナスに転じました。

来期は、従業員数のほぼ横ばいを予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は68.7%、不足していると回答した企業の割合は31.3%でした。



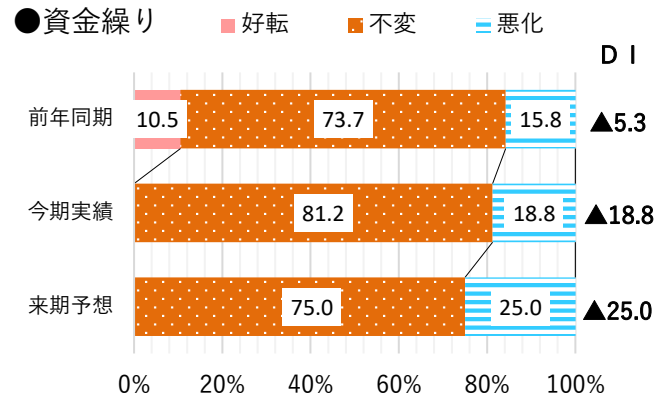
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、卸売業全体の62.5%を占めており、不足と回答した企業は31.3%でした。

従業員数変化	雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	0
	不足	1
不変だった	過剰	0
	適正	10
	不足	3
減少した	過剰	0
	適正	1
	不足	1

資金繰り、設備投資

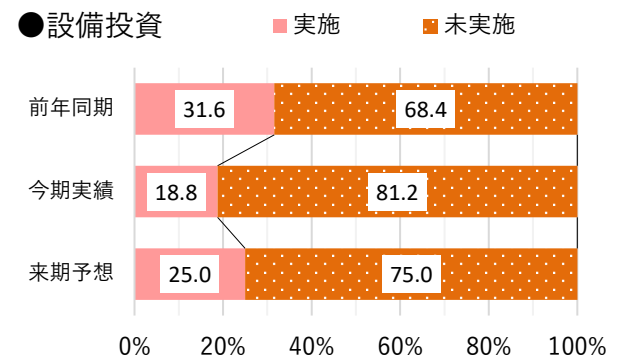
今期の資金繰りDIは▲18.8で、前年同期と比べ13.5ポイント低下しました。

来期は、資金繰りの悪化傾向が強まると予想しています。



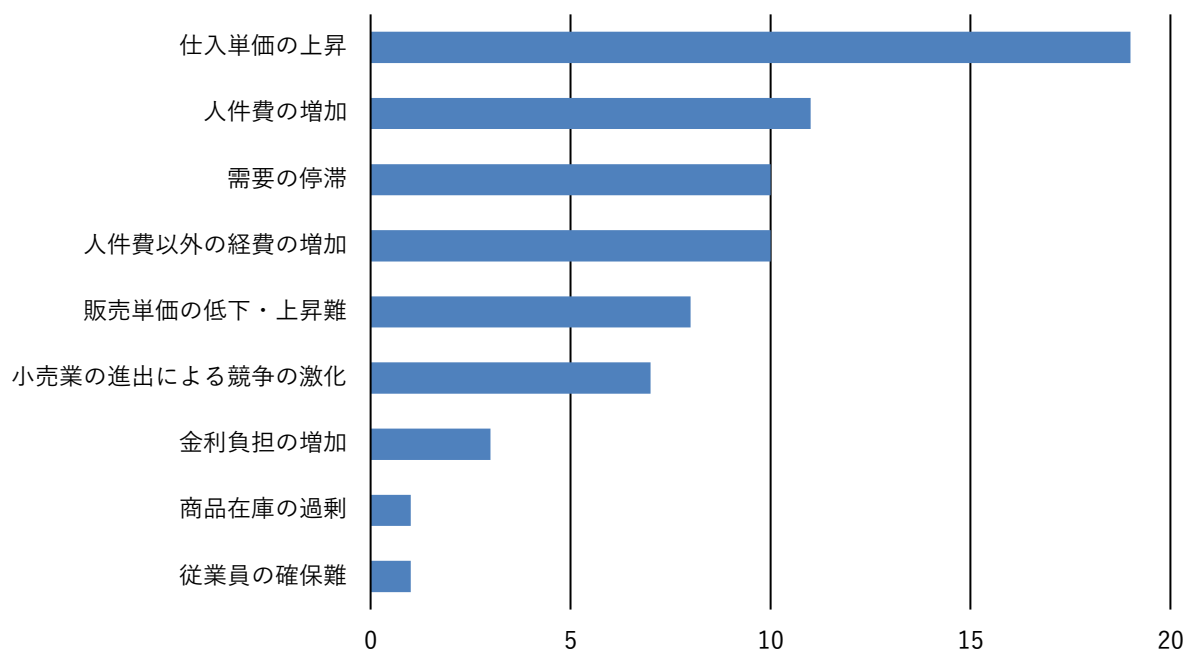
設備投資を実施した企業の割合は18.8%で、前年同期と比べ12.6%低下しました。投資内容は1位が「車両運搬具」、「付帯施設」（同位）でした。

来期に設備投資を計画している企業の割合は25.0%で、増加を予想しています。



経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は1位が「仕入単価の上昇」、2位が「人件費の増加」、3位が「需要の停滞」、「人件費以外の経費の増加」（同位）の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 国内需要が安定してきている。(食料・飲料)
- 少し落ち着いてきた。仕入価格が運搬費や人件費等の増加により再び値上がりしている。(建築材料)
- 板金関係の売上が悪く、不調だった。(自動車部品)
- 原油の仕入価格上昇分を売上に反映させることができた。(石油)
- 引合いが少なく、売上也減少している。(鉱物・金属材料)
- 仕入価格の値上がり分を販売価格に転嫁できない。買い控えにより売上が減少した。(包装資材)
- 売上は昨年同期と変わらなかった。(事務用品)
- 前半が好調だったため、トータルで前年並みとなった。(貿易)

[来期の業況について]

- 値上げ前価格で対応する工事が予定されているが、その後需要が減り、冷え込む不安がある。(建築材料)
- 輸入品(バッテリー類等の消耗品)の価格が高騰しており、今後もこの傾向が見込まれる。(自動車部品)
- 今期と変わらない状況が続くと思われる。(石油)
- より一層引合いが少なくなると思われる。利益確保に努めたいが、従業員の平均年齢が上がり、人件費の負担が重くなって来た。(鉱物・金属材料)
- 業況回復の目途は立たないが、好転を目指す。(包装資材)
- 売上は変わらないと思われる。(事務用品)
- 輸出規制品目の拡大と、ロシアの外貨(ドル)入手状況が懸念される。(貿易)